

# 京都教区時報

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

3頁 トマス・アクィナス 村上 透磨神父 司祭叙階50周年 感謝ミサ

4頁～5頁 2016年 京都教区・奈良ブロック 聖書講座 案内

6頁～7頁 社会と共に歩む教会「滋賀刑務所での教誨奉仕」花井 拓夫神父

京都教区広報委員会  
編集長 村上 透磨  
京都市中京区  
河原町通三条上る  
TEL 075-211-3468  
FAX 075-211-4345  
kouhou@kyoto.catholic.jp

点訳版「京都教区時報」〈無料〉  
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。  
TEL・FAX 079-431-8601

2016年 司教年頭書簡 御父のように、いくしみ深く

## いくしみの特別聖年を歩む

司教の今年の年頭書簡は、特別聖年公布の大勅書「イエス・キリスト、父のいくしみのみ顔」に応えて出された事は、承知していただいていると思います。今年も前年に続いて年頭書簡の解説(?)をお送りする事になり先月号では、全体の構成を私なりにまとめました。この全体の流れを頭に入れてご一緒に考えてみたいと思いま

す。

先ず、第一の戸惑いは「ミゼルコルディア」という言葉をどう訳すかという問題です。

ヘブライ語では、主に「ラハヒム」と「ヘセド」という言葉が多く使われます。(こ

の解説は、ヨハネ・パウロ二世「いくしみ深い神」注(52)、また、先月号で紹介した司教書簡「解説書」《いくしみの特別聖年に、知つておきたいこと》(参照)。この二つの語の持つ意味は、あわれみ、いつくしみ、慈悲、慈愛、誠実(まこと)、同情、共観……など、多義にわたるものであります。「心と心の愛のゆらぎ合い」、神の心と人の心が、その魂(存在の奥底)でゆらぐ神の息吹、神の靈、愛、命……を表します。でも本当は、この神秘をどう表してよいのか分からぬ。言葉にした途端、色あせてしまうようなそんな奥深さがある。

さて「ミゼルコルディエ・ヴルトゥス・ディ」は「御父のいくしみのみ顔」と訳されていますが、それは「御父は見えない」が「イエスを見れば、御父とそのみ心、愛が見える」つまり、イエスが中心なのだという事を見落としてはならない。「神は愛」そのものに在すけれど御子イエスの姿を通してはじめて、はつきり見えてくるといっている事を忘れてはならないと思いま

す。

確かに、御父は本質的にあわれみの神、人間の側に何が起ころうとも変わらない、愛であり続ける。人間が神を忘

3  
2016

れたり、離れたり、見捨てたりしても決してその愛は変わらない。

御子イエス・キリストと聖霊は、その愛の徴「秘跡」なのです。だから聖霊によって、キリストが示され、キリストによって御父が示されない限り、御父の御顔はあらわれないのです。

更に、もう一つ確認しておきたいことは、聖書において「正義と愛」は矛盾も対立もしないという事です。よく旧約の御父は正義で裁く神。それに対して新約の神は「愛とゆるしの神」であることを御子キリストを通して示されたのだとうのです。でもこれは余りにも短絡的な神理解でしょう。その事は順を追って示されるでしょう。こういう「裁きの神・父」と「ゆるしの神キリスト」を峻厳に分けて語る事が多かった靈性の中で、幼きイエスのテレジアは、その誤解を見事に看破しているのです。

「私は神のあわれみにも信頼していますが、正義にも信頼しています」と、聖女は、神は本質的に「あわれみであり、そのあわれみが正しく示される時、神の正義」が実現すること、「正義」の本質的な意味を直観していたのです。

以上のようなことを確認して、私なりに理解したことを書かせていただきたいと思います。

### 1. いつくしみの神との交わり

先ずこのテーマから少し考えてみます。「神との交わり」という言葉はとても大切です。「あわれみ」にしても「正義」にしても、いずれも「関わり」(交わり)としてとらえねばなりません。一切の徳にしても恵みにしても、そういうものが抽象的に存在するのです。「神の義」というのは「神の差し出される愛の関わりが正しく実現する」という意味なのであります。それは殆ど愛と同意語になります。その関わりは創造の時に始まり、罪をおかしても、主(かみ)はそのあわれみといつくしみから去る事になり、罪を犯した場合それは、ゆるしとなつてあらわれるというのです。この神の愛を「神の誠実」とも言います。それは、神が創造のはじめに、神が約束した善の思い(計画)を決して違えないという事です。それを神が、モーセを通して結んだ契約の言葉にあらわれます。それが、ここに引用される出エジプト34・6～7の言葉で

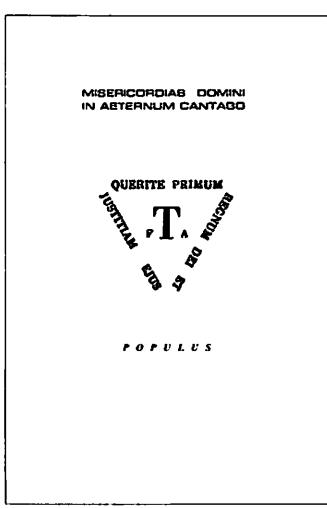
す(これが契約の基本的な言葉です)。

私は「主」である、私の名は「あわれみと恵みに富むものである。それは忍耐強く

いくつしみとまことに満ちるものである。そのため私の悲しみは幾千代(永遠にも及ぶ)、その約束として、罪と背きと過ちを赦すものである」と宣言する。

神はそれを民がどんなに不忠を尽くそうとも守り続けます(ホセア2・21参照)。だから私たちはこのようないい神の「あわれみ」と「いつくしみ」に包まれて神に感謝せよ、そのあわれみは永遠に歌い、「主よ私をあわれんでください」と叫びつづけるのです。神はその嘆願の祈りに見事に応えて行きます。これが神と人との出会いの歴史(救いの歴史)であり、その頂点が、イエス・キリストなのです。

(村上透磨)



## 祝 トマス・アクイナス 村上透磨神父 司祭叙階50周年 感謝ミサ



司祭団と共に



京都教区 信者一同からの靈的花束



叙階の翌日  
ローマ聖ペトロ大聖堂にて  
(左 透磨師 右 故 真理雄師(兄))



1938年5月26日 京都市内で生まれる
1966年1月6日 教皇 福者パウロ六世により
ローマ聖ペトロ大聖堂で司祭叙階
2016年1月6日 司祭叙階50周年

# 2016年度 京都司教区聖書講座

## 神の正義と神のいつくしみ

### —いつくしみの特別聖年にあたって—



期 間：2016年5月～12月 (全13回、8月休講)

日 時：(水) 19:00～20:20 (木) 10:30～11:50

会 場：カトリック河原町教会 地下ヴィリオングル

	水・夜	木・昼	テーマ	講師
1	5/11	5/12	導入 一創世記	村上 透磨 神父 (京都司教区)
2	5/25	5/26	出エジプト記	中川 博道 神父 (カルメル会)
3	6/8	6/9	イザヤ書	大塚 喜直 司教 (京都司教区)
4	6/22	6/23	ホセア書	澤田 豊成 神父 (聖パウロ会)
5	7/6	7/7	ヨブ記	一場 修 神父 (マリスト会)
6	7/20	7/21	詩編	阿部 伸麻呂 神父 (サレジオ会)
7	9/14	9/15	イエスのたとえ話①	白浜 満 神父 (サン・スルビス会)
8	9/28	9/29	イエスのたとえ話②	奥村 豊 神父 (京都司教区)
9	10/12	10/13	イエスのいやし	西 経一 神父 (神言会)
10	10/26	10/27	イエスのゆるし	片柳 弘史 神父 (イエズス会)
11	11/9	11/10	イエスの派遣	北村 善朗 神父 (京都司教区)
12	11/30	12/1	イエス・キリスト、父のいつくしみのみ顔	鈴木 信一 神父 (聖パウロ会)
13		12/8	感謝と派遣のミサ	聖書委員会

会 費：4,000円 郵便振込みにて4月30日までに下記宛  
振込口座 00910-9-148401 京都教区聖書委員会

問合せ：TEL. 075-211-3484(水、木の10時～16時)

FAX. 075-211-3910 e-mail : seisho@kyoto.catholic.jp

主 催：京都司教区聖書委員会

2016年 奈良ブロック聖書講座 「みことばを生きるために」 シリーズ14

テーマ 「クレド 今 わたしは信じます」  
—— 信仰宣言 ——

講 座 の 内 容

回	金曜夜コース	土曜昼コース	各講座のテーマ	講 師
1	4月22日 八木教会	4月23日 奈良教会	わたしの信仰は唯一の神への信仰です わたしにとって信じるとは、アブラハムの信仰 偶像崇拜との戦い	クエンジ・カンバタ・ダニエル 神父 淳心会
2	5月13日 郡山教会	5月14日 奈良教会	父である神への信仰 父である神とは、全能、創造主、契約の神	鈴木 信一 神父 聖パウロ修道会
3	5月27日 八木教会	5月28日 奈良教会	神のひとり子 イエス・キリストを信じます 御子イエス・キリストへの信仰 神の子イエス・キリスト(マルコ) キリスト論—マタイ、ルカ、ヨハネ、パウロ	奥村 豊 神父 京都司教区
4	6月10日 郡山教会	6月11日 奈良教会	聖靈を信じます 神の靈、父と子の靈 いのちと恵みの与え主 真理の靈 キリストの神秘体(教会)とその働きを生かす靈	ザビエル・アマルラージ・スサイ 神父 神言修道会
5	6月24日 八木教会	6月25日 奈良教会	聖なる普遍の教会、聖徒の交わり わたしは信じます 普遍の教会と諸聖徒との交わりを 天上の教会(と地上の教会)	大塚 喜直 司教 京都司教区
6	7月8日 郡山教会	7月9日 奈良教会	罪のゆるし 唯一の洗礼と罪のゆるしを 許し、和解、贖い、いつくしみの神に信頼して	柳田 敏洋 神父 イエズス会
7	7月22日 八木教会	7月23日 奈良教会	わたしの復活、永遠のいのちを信じます 救いと完成 わたしたちの体の復活と永遠の命を期待します	松田 浩一 神父 カルメル修道会

時 間：金曜夜コース 午後 7:00～8:30 土曜昼コース 午前 10:00～11:30

昼夜コースの内容は同じです。ご都合の良い方をお選び下さい。

持参するもの 「旧約・新約聖書」

参 加 費：3,000円（全7回）事前に郵便振込みにてお支払い下さい。

郵便振込口座=00990-0-115473 「カトリック奈良地区協議会」

学生及び信者でない方は無料です!!

申込方法：原則として全7回の昼または夜コースをお申込み下さい。

郵便振込をもって申込み受付といたします。

振込用紙通信欄には、お名前、所属教会、電話番号と参加コース名を必ずご記入下さい。

申込締切：4月1日（金）

主 催：カトリック奈良ブロック協議会／協賛：京都司教区聖書委員会

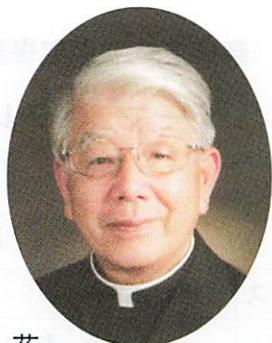
お問合せは、善きサマリア人修道院 服部悦子へ

電話 0742-22-0017 (19時から21時まで)



## 滋賀刑務所での教誨奉仕

社会と共に歩む教会



花井 拓夫神父

### 教誨奉仕

牢にいるのに訪ねてくれなかつた

(マタイ 25・43)

しかし、誰でもが刑務所に面会に行くことができるわけはありません。収容者が面会人として指定した方のみ面会ができます。

滋賀刑務所(大津)の教誨師をさせて

いただいています。滋賀刑務所は、おおむね初犯で刑期8年以下の人が収容されています。大阪矯正管区内で累犯の人は京都刑務所(山科)に、長期刑は大阪刑務所(堺)に収容されます。この一画には外国人のみの施設もあります。女性は、

刑期に関係なく和歌山刑務所です。このほか医療刑務所や少年刑務所もあります。拘置所は、まだ刑の確定していない人や死刑を宣告された人が収容されています。最近、社会復帰センターという半官半民の施設が全国で4ヶ所設立されました。

これらの施設に各宗教から教誨師が奉仕しています。現在1850名が依頼されて、カトリック関係は60数名です。

### 個人教誨

収容者がどの先生に会いたいか「ガンセン」を出します。願箋というメモ担当警官に提出します。悩み相談とか命日読経の願いとか、宗教的指導を受けたいとかです。しかし、順番待ちなどですぐ面接できないこともあります。

月1回の訪問で多い時は数名、少ない時で2~3名と話をします。面会室は一般の面接室ではなく、小さな応接室風に整備された4帖ほどの部屋で、立会はありません。対話の内容は秘密が守られています。

### グループ教誨

各宗派別に希望者を集めて行います。

年に1度しかできません。ビデオを見てもらったり、キリスト教について話をしたりします。プロテスチントと交代でクリスマス行事をしています。簡単な儀式とご降誕の意味を話し後半は、コーラ

チエレステ(女声コーラス)のメンバーの協力でクリスマスキヤロルと一般曲などを、清らかな歌声と好評です。30年間ご奉仕いただいています。

教誨活動は一宗一派の宣教活動の場ではないので、教会に関心があるという人には帰住してから、近くのカトリック教会を訪ねるようになっています。



滋賀刑務所 庁舎

教誨の効果はと問われても答えられません。あくまでも刑務所内だけの指導で、その後の追跡調査はありません。残念ながら一般的に再犯者は4割といわれています、薬物関係は7割とのことです。

犯罪のない社会づくりへの教育、出所者の社会での好意的な受け入れがなされるように祈ってください。

花井拓夫神父様は、51年間 教誨奉仕をされています。

1989年 藍綬褒章 授与  
2008年 瑞宝双光章 授与

藍綬褒章（らんじゅほうしょう）

国や地方公共団体から依頼されて行われる公共の事務（保護司、民生・児童委員、調停委員等の事務）に尽力した方に授与される褒章。

子どもたちが児童養護施設に入所する主な理由は、保護者による虐待、保護者の疾病、経済的な理由、養育困難です。

日本の勲章の一つで、公共的な職務の複雑度、困難度、責任の程度などを評価し、長年にわたり従事、成績を挙げた方に授与される瑞宝章。

日本全国の報告によると、施設に入所します。

内閣府 資料より

### 信徒養成講座

## 『現代世界憲章』から学ぶ 第2回「婚姻と家庭の尊さ」

家庭における子どもとの関わり



井上 新二

社会福祉法人

カトリック京都司教区カリタス会理事長  
(京都市内公立小学校元校長、  
児童養護施設京都聖嬰会前施設長)

### 児童養護施設の入所理由から

見えてくること

一方、児童相談所に虐待の疑いがあることです。

子どもたちが児童養護施設に入所する主な理由は、保護者による虐待、保護者の疾病、経済的な理由、養育困難です。そして入所理由の多くを占める児童虐待には、身体的な虐待、ネグレクト、心理的な虐待、性的な虐待などがあります。

ているうちの60%を超える子どもたちが、虐待を受けています。京都市内の8施設、2乳児院においてその割合は80%を超えています。

児童虐待は、それだけが単独で起こっているのではありません。その背景には、親の社会的孤立（子育ての不安、相談相手がない等）や貧困（見通しの持てない不安、ゆとりのない生活等）があります。ある家庭では、仕事の不調で夫が精神的に落ち込み、さらに妻が精神的に追い詰められ鬱状態になり、子育てが上手くできず虐待してしまったということがありました。仕事の不調や病気をきっかけに、ある日突然歯車が狂ってしまうのです。これはどこの家庭でも起りうることです。

瑞宝双光章（ずいほうそうこうしよう）

瑞宝双光章の一つで、公共的な職務の複雑度、困難度、責任の程度などを評価し、長年にわたり従事、成績を挙げた方に授与される瑞宝章。

社会や教会において、虐待は許さない、虐待を防止しようということは大切ですが、それが「虐待する親は許せない、虐待する親は本当に人なのか」という非難となつて親の孤立をさらに深めます。虐待をして苦しんでいる親に対する無関心は大きな問題です。子どもだけでなく、虐待をしてしまった親も「小さくされた人」であると認識することが必要です。

### 子どもたちの現状

児童養護施設の子どもたちにはいくつか気がかりな課題がみられます。周囲の大人に安心して頼ることは子どもの発達過程において大切なテーマですが、それが困難なのです。また施設という限られた空間、限られた情報の中で生活しているため、家族の有り様や家族が寄り添いながら生活していることをイメージできににくいのです。また虐待を受けた子どもの中には、自分が悪い子だから施設に入れられたと思っている子どもがいます。そういう子どもたちは自尊感情が低く、自分に自信が持てません。見通しが持てないという課題もあります。先の見えな

い中にある子どもたちにとって、希望や意欲を持つことは難しいことです。

今後、危惧されることは、まず退所後の子どもたちの行く末です。児童養護施設の子どもたちは、高校卒業（18歳）までは様々な支援を受けられますが、退所後は支援がなくなり自立しなければなりません。さらに、いわゆる「虐待の連鎖」の問題があります。「虐待は連鎖する」とよく言われます。

そのため、自分が虐待をしてしまうことを心配して、結婚への不安、子どもを持つことへの不安を感じている女の子もいます。虐待の連鎖の事実はありますが、それを断ち切ることも可能です。退所した子どもたちの中には暖かく素晴らしい家庭を築いている人たちがたくさんいます。

定な生活を余儀なくされます。そして不安定な生活の中で、子どものために十分な教育環境を作ることが出来ず、その結果「低学力」が次の世代に持ち越されることになります。低学力を生み出しているのは本人の意欲の問題ではなく、社会的な背景が多くあるのです。このような低学力の子ども、経済的に恵まれない家庭の子どもたちを学校現場だけではなく社会全体、また教会の中でもどう支えるかは大きな課題だと思います。



### 求められる保護者と子どもたちへの支え

現代世界憲章には、「家庭は豊かな人間形成の学校の一種である。」(52)と書かれています。しかし、豊かな人間形成の場である家庭が機能しないことがあります。それを支えていく必要があると思います。それを支えていく必要があります。難しい状況に追いやられている子どもたちに关心を持つこと、そして保護者の悲しみや苦しみに共感し、裁くのではなく支えていくことが大切だと思います。何気ない日常の中で、さり気なく支え合えるような仲間が教会の中にできることを願っています。文責 福音宣教企画

## 3月のお知らせ

## 教 区

**聖書委員会**／Tel.075(211)3484 ④⑤⑥  
 よく分かる聖書の学び(ヨハネ福音書を読む)  
 日 時：30日④ 10:30  
 講 師：北村 善朗師／参加費：300円  
 会 場：河原町教会 ヴィリオンホール

## 修 道 会

**聖ドミニコ女子修道会**(京都修道院)  
 Tel.075(231)2017 Fax.(222)2573

## みことばを聴こう！

日 時：5日④ 14:00～16:30

テマ：托鉢のこころ

指 導：Sr. 中里 郁子

対 象：青年男女

会 費：300円(茶菓代)

申 込：2日④まで

## ロザリオを共に祈る集い

日 時：18日④ 10:30～12:00

**男子カルメル修道会**(宇治修道院)

Tel.0774(32)7016 Fax.(32)7457

## 四旬節の黙想(中川 博道師)

日 時：5日④ 17:00～6日④ 16:00

テマ：問題性から脱出すること

参加費：6,500円

## 2015年 中学生会冬合宿

九条教会 松浦 留架

昨年12月28日から29日にかけて唐崎メリノールハウスで中学生会冬合宿を行いました！

今回のテーマは『つみき』でした。例年に比べ、うれしいことに参加者が多かったため今回は学年ごとに分かれて分かち合いをしました。「つみきのいえ」という音楽と映像だけの短編アニメーション(おじいさんがあることをきっかけに過去を振り返っていく話)をみんなで見てから、各班に分かれて自分たちの今までの経験や今がんばっていることなどを話しました。学年ごとの班にすることでお互いの話に共感するところも多く、班ごとにいろんな方向性で分かち合いが進められました。最後は「砂の上の足あと」(砂の上に足あとが自分の分と神様の分のふたつあり、ひとつしかないときは実は神様が支えてくれていた)というお話を神父様にしていただき

[青年センターHP] 携帯からでもご覧いただけます。 <http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/>

## 水曜黙想(松田 浩一師)

日 時：16日④ 10:00～16:00

テマ：キリストの過越

参加費：3,000円

## 社会人のための霊的同伴(松田 浩一師)

日 時：18日④ 20:00～19日④ 15:00

参加費：6,500円

## 諸 団 体

**望洋庵**／Tel.075(366)8337

## 青年のための聖書入門講座

日 時：3日④ 19:00／17日④ 19:00

参加費：200円

## 京都カトリック混声合唱団

練習：13日④ 14:00／27日④ 14:00

カトリック会館 6階

## コーロ・チェレステ(女声コーラス)

練習：10日④ 10:00／31日④ 10:00

カトリック会館 6階

## 聴覚障がい者の会

## 手話表現学習

日 時：15日④ 13:00 カトリック会館 7階

## 心のともしび 番組案内

テレビ(衛星.CATV)スカイ A スポーツプラス

毎週土曜日 朝 7:45

シリーズ「小さな気づきを大切に」

出演は阿南 孝也氏(洛星中学高等学校 校長)

ラジオ(KBS京都) ④～④ 朝 5:55

④ 朝 5:15

3月のテーマ「新いいのち」

ました。「つみきのいえ」の動画ぜひ観てみてください！

他にもクリスマスパーティーや卒業式なども行いました。卒業式では3年生が自分たちで考えてクオリティーの高い出し物をしてくれて、また合宿全体を通して見ても1年生の頃からの成長がうかがえ、リーダーたちは親のような目線でその成長を喜んでいました。

2016年3月の終わりごろにも春合宿を行いますので、たくさんの中学生の参加をお待ちしております！ リーダーをしてくれる青年も募集中です！



青年センターあんてな

## 大塚司教の

3月のスケジュール

Schedule of Bishop Otsuka



- 1日㊁ 10:00 メリノール女子学院高等学校  
卒業式
- 2日水 10:00 長岡幼稚園 感謝式(河原町)
- 3日木 10:00 中央協 常任司教委員会  
15:00 " 社会司教委員会
- 4日金 11:00 " 列聖推進委員会
- 5日土 11:00 大塚 乾隆 助祭叙階式  
(河原町)
- 12日㊂ 10:00 京都ノートルダム女子大学  
卒業式
- 13日㊃ 9:30 三重北部ブロック司教訪問  
(桑名)
- 14日㊄ 14:00 司教顧問会
- 15日㊅ 10:00 ノートルダム学院小学校  
卒業式  
14:00 (学法)カトリック京都学園・  
京都南カトリック学園 理事会
- 16日水 9:30 京都聖母学院小学校 卒業式  
14:00 (学法)滋賀カトリック学園  
理事会(大津)
- 17日木 14:00 (社福)カトリック京都司教区  
カリタス会 理事会

ガブリエル 大塚 乾隆 助祭叙階式

2016年3月5日土 午前11時

カトリック河原町教会

- 19日㊆ 11:00 ステファノ 北村 善朗師  
司祭叙階25周年 銀祝感謝ミサ(河原町)
- 20日㊇ 14:00 大和八木教会 英語ミサ
- 23日㊉ 11:00 聖香油ミサ
- 24日㊊ 19:00 主の晚餐(河原町)
- 25日㊋ 19:00 主の受難(河原町)
- 26日㊌ 19:00 復活徹夜祭(河原町)
- 27日㊍ 10:30 主の復活 ミサ(河原町)  
15:00 主の復活 ミサ(山国)
- 29日㊏ 15:00 教区保育者研修会ミサ
- 29日㊏-31日㊈ 侍者合宿
- 30日㊉ 13:30 メリノール女子学院 理事会
- 31日㊊ 11:00 神のいくしみの特別聖年  
召命祈願ミサ(河原町)

復活のイエスとの出会い  
アンジェリコ

## 教区広報委員会からのお知らせ

※ お知らせに載せたい情報は、原稿締切り日までに教区広報委員会宛にFax.075(211)4345かkouhou@kyoto.catholic.jpに発信者のお名前を明記してお寄せください。

※ 5月号の原稿締切り日は3月23日㊉です。